

2/27 マルコの福音書 10 章 46-52 節 「ダビデの子のイエス様」

小池 宏明 牧師

今日の聖書箇所には、主イエス様が十字架にかかるために、エルサレムへ向かわれる途上、エリコの近くでの出来事が記されている。主イエス様の受難がいよいよ始まろうとしている。

*バルティマイの信仰告白

ティマイの子、バルティマイは、人々から施しを受けながら生活している目が見えない人だった。彼は、世間で言われている「ナザレ出身のイエス」が近くに来ていることを知ると「ダビデの子のイエス様」と叫んだ。しかも、人々から妨害されても、屈することなく、ますます叫び続けている。「ダビデの子」とは、旧約聖書で予告されているメシア（救い主）のことを指す信仰の告白なのだ。さらに彼は、「私をあわれんで下さい」と繰り返し叫び求めた。主イエス様は彼の叫び声をよく聞きとっておられた。そして、ご自分の許に招かれた。主の招きを受けたバルティマイは、50 節「…上着を脱ぎ捨て、躍り上がってイエスのところに来た。」彼は、生活のための必需品である上着を脱ぎ捨てて躍り上がった。これは、今まで自分が頼りにしていた物とは決別して、主イエス様の許に向かう、期待と決意の現われであろう。いつまでも、過去を引きずってはいは、主イエス様の招きに応えることができない。

*信仰による救いの宣言

主イエス様は、バルティマイに対して「あわれんでください」とは、具体的に何をすることか問い掛けている（51 節）。私たちも、主なる神様に願い事をする時に、チャンスを逃さずに、はっきりと具体的に、口に出して祈り求めることが大切ではないだろうか。52 節「そこでイエスは言われた。「さあ、行きなさい。あなたの信仰があなたを救いました。」すると、すぐに彼は見えるようになり、道を進むイエスについて行った。」主イエス様は、彼が見えるようになる前に、彼の信仰による救いが起きたことを証言した。もちろん、主イエス様の全能の御力によって、人は救われるし、癒されるわけだが、主イエス様は、肉体的な癒し以上に、信仰による救い、たましいの救いを与えたい、優先したいと願っておられる。なぜなら、主イエスにつながって「永遠のいのち」を得ることが最重要なのだ。救い出されたバルティマイは、主イエス・キリストの後に付き従った。

今も、主イエス様は、1 人の信仰者を求めておられる。主イエス様が通り過ぎる前に、主を求め続けよう。今まで頼りにしてきたものを脱ぎ捨てて、自らが抱えている課題を正直に主イエス様の御前で打ち明けよう。主は必ずあなたを救い出し、まことに幸いな道へ、永遠の御国へ至る道へと導いて下さる。